



郵政産業労働者ユニオン中国

第147号

2025年10月20日発行

発行⇒ 郵政産業労働者ユニオン
中国地方本部Tel&Fax⇒ 082-244-7719
piwu-chugoku@abelia.ocn.ne.jp
http://www.piwu-chugoku.net/

誠実な回答を！ 「年末始繁忙要求」を提出。

日本郵便によると 2026 年用年賀はがきの当初発行枚数は 7.5 億枚だそうで、対前年比 69.9% です。2005 年前後では 40 億枚前後が当然だったことを思えば随分と減少したものです。会社側がこれを理由に営業強要をする可能性も有ります。郵政ユニオン中国地方本部は今年度の年末繁忙に向けた要求書を提出しました。社員の感じる不安を解消し、皆が無事に 2026 年を迎えるためにも私たちへの誠実な回答を期待します。

以下はこの要求書を抜粋したのですが、少し解説をしていきます。

A：年末年始繁忙期に、例年局所によりますが業務研究会を行う前に繁忙期本番に突入してしまうことが有ります。ひどい時には資料を配って後は読んでおいてくれ、という場合も有るようですが、キチンと事前に研修を行え、という要求です。

B：集配職場全般で有るようですが、勤務時間前に 2 パスワゴンから郵便を取り出して配達前作業を始める、とか昼休憩にも帰局してこない、等の現状を改める、という要求です。

C：E V 車は総じて重量がかさむ為、降雨時でも配達先の地形によっては二輪車は注意が必要で、ましてや積雪時など二輪車で走行は危険でしかないので、労災防止の意味も含めて会社で対応を行え、という要求です。

D：主に九州方面からロングパレット上段に三段積みというのをよく見かけました。しかも重量物。当然腰周りに損傷を受ける可能性が高まりますので、本社名義で全面禁止の通達を出してほしいところです。

E：いわゆる「自爆営業」に繋がる道です。場合によっては強要もしくは脅迫事案として警察に相談するのも手かもしれません。

2025年度年末年始業務運行に関する要求書（抜粋）

記

A、 年末年始繁忙が始まるまでに、全社員が業務研究会に参加するよう指導すること。また、資料配布で終わらせることなく質疑応答を含め必要な意思疎通は十分行うこと

B、 要員不足・点呼実施等により通常時でも勤務時間前後・休憩時間に仕事をする社員が散見される。そんな中、それを見て見ぬふりをする管理者がほとんどである。今一度、勤務時間管理を徹底し、休憩・休息が確保できるように指導を徹底すること

C、 電動二輪車における転倒事故等が多発している状況にある。乗務にあたっては十分な訓練を実施して事故防止に向けた対策を講じること。また、降雪時におけるスリップ防止の観点から、冬用タイヤの配備、専用チェーンを配備すること

D、 郵便物のロングパレット積載について、上段にハーフケース 3 段以上を載せるなど身体に負担のかかる積み方が散見される。直ちに是正するとともに、中国管内各局にたいし上段への過度の積載をしないよう徹底すること。また、本社及び他支社にも要請すること。

E、 郵便営業に関して、現在、職場において「全員参画」「一人〇個、〇万円」「書留等対面配達時の声掛け」など個人への販売実績の迫りや不適切営業に繋がる発言が相次いでいる。管理者を含め、コンプライアンスの徹底と適切な営業活動の仕方（特定商取引法など）について指導を徹底すること。

紙面上部の QR コード、又はアドレスからホームページに入れます。ホームページでは要求書の全項目をご覧になれます。